学校番号	122

平成31年度　　体育科

教科	体育	科目	スポーツⅥ	単位数	２単位	年次	1年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・体つくり運動の理解と実践
・目的に応じた心身の調整の仕方や交流を深めるための運動の仕方の理解と実践
・ライフステージに応じた運動の計画の立て方の理解と実践

2　学習の到達目標

体ほぐしの運動と体力を高める運動を取り上げ、それぞれの特性に応じて運動したり、運動の計画を立てて実践し、体つくり運動の専門的な理解とその活用を目指した主体的、合理的、計画的な実践を通して、実生活に役立てることができるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	種目における特性に関心を持ち実践しようとする	知識を活用し、技能向上につなげる。体力や技能を向上するための計画を立てることができる	各種目における記録に挑戦したり、仲間との連携を取り、運動特性に応じた技能を身に付ける	運動の技術の名称や、行い方、体力の高め方、各種目を行ううえでの安全に対する知識を理解している。
評価方法	受講態度の観察 レポート	受講態度の観察 レポート テスト	技能観察 テスト	受講態度の観察 技能観察 レポート テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	体作り　個人のスポーツ実践	**陸上・水泳・サッカー・ラグビー・バレーボール・硬式テニス・バスケットボール(自己に適した目標設定・それぞれの種目の特性に応じた体ほぐし運動と体力を高める運動)ライフステージに応じた運動の計画の立て方の理解と実践**	○	○	○	○	a:種目における特性に関心を持ち実践しようとする b:知識を活用し、技能向上につなげる。体力や技能を向上するための計画を立てることができる c:各種目における記録に挑戦したり、仲間との連携を取り、運動特性に応じた技能を身に付ける d:運動の技術の名称や、行い方、体力の高め方、各種目を行ううえでの安全に対する知識を理解している。	受講態度の観察 技能観察 レポート テスト
2学期	体作り　個人のスポーツ実践	**陸上・水泳・サッカー・ラグビー・バレーボール・硬式テニス・バスケットボール(自己に適した目標設定・それぞれの種目の特性に応じた体ほぐし運動と体力を高める運動)ライフステージに応じた運動の計画の立て方の理解と実践**	○	○	○	○	a:種目における特性に関心を持ち実践しようとする b:知識を活用し、技能向上につなげる。体力や技能を向上するための計画を立てることができる c:各種目における記録に挑戦したり、仲間との連携を取り、運動特性に応じた技能を身に付ける d:運動の技術の名称や、行い方、体力の高め方、各種目を行ううえでの安全に対する知識を理解している。	受講態度の観察 技能観察 レポート テスト
3学期	体作り　個人のスポーツ実践	**陸上・水泳・サッカー・ラグビー・バレーボール・硬式テニス・バスケットボール(自己に適した目標設定・それぞれの種目の特性に応じた体ほぐし運動と体力を高める運動)ライフステージに応じた運動の計画の立て方の理解と実践**	○	○	○	○	a:種目における特性に関心を持ち実践しようとする b:知識を活用し、技能向上につなげる。体力や技能を向上するための計画を立てることができる c:各種目における記録に挑戦したり、仲間との連携を取り、運動特性に応じた技能を身に付ける d:運動の技術の名称や、行い方、体力の高め方、各種目を行ううえでの安全に対する知識を理解している。	受講態度の観察 技能観察 レポート テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断　c:運動の技能　d:知識・理解
※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号	122

平成31年度　　体育科

教科	体育	科目	スポーツⅥ	単位数	２単位	年次	2年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・体つくり運動の理解と実践
・目的に応じた心身の調整の仕方や交流を深めるための運動の仕方の理解と実践
・ライフステージに応じた運動の計画の立て方の理解と実践

2　学習の到達目標

体ほぐしの運動と体力を高める運動を取り上げ、それぞれの特性に応じて運動したり、運動の計画を立てて実践し、体つくり運動の専門的な理解とその活用を目指した主体的、合理的、計画的な実践を通して、実生活に役立てることができるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	種目における特性に関心を持ち実践しようとする	知識を活用し、技能向上につなげる。体力や技能を向上するための計画を立てることができる	各種目における記録に挑戦したり、仲間との連携を取り、運動特性に応じた技能を身に付ける	運動の技術の名称や、行い方、体力の高め方、各種目を行ううえでの安全に対する知識を理解している。
評価方法	受講態度の観察 レポート	受講態度の観察 レポート テスト	技能観察 テスト	受講態度の観察 技能観察 レポート テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1学期	体作り 個人のスポーツ実践	**陸上・水泳・サッカー・ラグビー・バレーボール・硬式テニス・バスケットボール(自己に適した目標設定・それぞれの種目の特性に応じた体ほぐし運動と体力を高める運動)ライフステージに応じた運動の計画の立て方の理解と実践**	○	○	○	○	a:種目における特性に関心を持ち実践しようとする b:知識を活用し、技能向上につなげる。体力や技能を向上するための計画を立てることができる c:各種目における記録に挑戦したり、仲間との連携を取り、運動特性に応じた技能を身に付ける d:運動の技術の名称や、行い方、体力の高め方、各種目を行ううえでの安全に対する知識を理解している。	受講態度の観察 技能観察 レポート テスト
2学期	体作り 個人のスポーツ実践	**陸上・水泳・サッカー・ラグビー・バレーボール・硬式テニス・バスケットボール(自己に適した目標設定・それぞれの種目の特性に応じた体ほぐし運動と体力を高める運動)ライフステージに応じた運動の計画の立て方の理解と実践**	○	○	○	○	a:種目における特性に関心を持ち実践しようとする b:知識を活用し、技能向上につなげる。体力や技能を向上するための計画を立てることができる c:各種目における記録に挑戦したり、仲間との連携を取り、運動特性に応じた技能を身に付ける d:運動の技術の名称や、行い方、体力の高め方、各種目を行ううえでの安全に対する知識を理解している。	受講態度の観察 技能観察 レポート テスト
3学期	体作り ポーツ実践 個人のス	**陸上・水泳・サッカー・ラグビー・バレーボール・硬式テニス・バスケットボール(自己に適した目標設定・それぞれの種目の特性に応じた体ほぐし運動と体力を高める運動)ライフステージに応じた運動の計画の立て方の理解と実践**	○	○	○	○	a:種目における特性に関心を持ち実践しようとする b:知識を活用し、技能向上につなげる。体力や技能を向上するための計画を立てることができる c:各種目における記録に挑戦したり、仲間との連携を取り、運動特性に応じた技能を身に付ける d:運動の技術の名称や、行い方、体力の高め方、各種目を行ううえでの安全に対する知識を理解している。	受講態度の観察 技能観察 レポート テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断　c:運動の技能　d:知識・理解
※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。

学校番号	122

平成31年度　　体育科

教科	体育	科目	スポーツⅥ	単位数	２単位	年次	3年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・体つくり運動の理解と実践
・目的に応じた心身の調整の仕方や交流を深めるための運動の仕方の理解と実践
・ライフステージに応じた運動の計画の立て方の理解と実践

2　学習の到達目標

体ほぐしの運動と体力を高める運動を取り上げ、それぞれの特性に応じて運動したり、運動の計画を立てて実践し、体つくり運動の専門的な理解とその活用を目指した主体的、合理的、計画的な実践を通して、実生活に役立てることができるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	種目における特性に関心を持ち実践しようとする	知識を活用し、技能向上につなげる。体力や技能を向上するための計画を立てることができる	各種目における記録に挑戦したり、仲間との連携を取り、運動特性に応じた技能を身に付ける	運動の技術の名称や、行い方、体力の高め方、各種目を行ううえでの安全に対する知識を理解している。
評価方法	受講態度の観察 レポート	受講態度の観察 レポート テスト	技能観察 テスト	受講態度の観察 技能観察 レポート テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	体作り個人のスポーツ実践	**陸上・水泳・サッカー・ラグビー・バレーボール・硬式テニス・バスケットボール(自己に適した目標設定・それぞれの種目の特性に応じた体ほぐし運動と体力を高める運動)ライフステージに応じた運動の計画の立て方の理解と実践**	○	○	○	○	a:種目における特性に関心を持ち実践しようとする b:知識を活用し、技能向上につなげる。体力や技能を向上するための計画を立てることができる c:各種目における記録に挑戦したり、仲間との連携を取り、運動特性に応じた技能を身に付ける d:運動の技術の名称や、行い方、体力の高め方、各種目を行ううえでの安全に対する知識を理解している。	受講態度の観察 技能観察 レポート テスト
2学期	体作り個人のスポーツ実践	**陸上・水泳・サッカー・ラグビー・バレーボール・硬式テニス・バスケットボール(自己に適した目標設定・それぞれの種目の特性に応じた体ほぐし運動と体力を高める運動)ライフステージに応じた運動の計画の立て方の理解と実践**	○	○	○	○	a:種目における特性に関心を持ち実践しようとする b:知識を活用し、技能向上につなげる。体力や技能を向上するための計画を立てることができる c:各種目における記録に挑戦したり、仲間との連携を取り、運動特性に応じた技能を身に付ける d:運動の技術の名称や、行い方、体力の高め方、各種目を行ううえでの安全に対する知識を理解している。	受講態度の観察 技能観察 レポート テスト
3学期	体作り個人のスポーツ実践	**陸上・水泳・サッカー・ラグビー・バレーボール・硬式テニス・バスケットボール(自己に適した目標設定・それぞれの種目の特性に応じた体ほぐし運動と体力を高める運動)ライフステージに応じた運動の計画の立て方の理解と実践**	○	○	○	○	a:種目における特性に関心を持ち実践しようとする b:知識を活用し、技能向上につなげる。体力や技能を向上するための計画を立てることができる c:各種目における記録に挑戦したり、仲間との連携を取り、運動特性に応じた技能を身に付ける d:運動の技術の名称や、行い方、体力の高め方、各種目を行ううえでの安全に対する知識を理解している。	受講態度の観察 技能観察 レポート テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断　c:運動の技能　d:知識・理解
※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。